



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社カワニシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/home.asp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績 (平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	53,184	8.0	571	193.3	590	205.2	377	312.9
28年6月期第2四半期	49,238	7.9	194	△16.9	193	△16.1	91	△20.7

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 397百万円(273.1%) 28年6月期第2四半期 106百万円(△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	67.29	—
28年6月期第2四半期	16.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	35,391	4,968	13.6
28年6月期	31,049	4,593	14.8

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 4,827百万円 28年6月期 4,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想 (平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,069	3.6	816	50.2	808	45.2	492	61.1	87.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名) 株式会社エクソーラ 、 除外 1社 (社名)
 メディカル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年6月期2Q	6,250,000株	28年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	639,284株	28年6月期	639,284株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年6月期2Q	5,610,716株	28年6月期2Q	5,610,762株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は531億84百万円(前年同期比 8.0%増)、連結経常利益は5億90百万円(前年同期比 205.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億77百万円(前年同期比 312.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

〈医療器材事業〉

成長の軸となる消耗品全体の売上高は、市場環境が厳しい中にありながらも堅調に推移し前年同期比103.2%となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品は、外科用止血材(手術時の出血を抑制するゼラチン状の物質)や血糖測定器をはじめとする糖尿病関連機器などの販売が進みました。またシェアの低いエリアである東京都・鳥取県・高知県・徳島県で新規開拓が進み2桁成長を実現しました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比104.2%となりました。

整形外科消耗品は、既存得意先での症例増加や、新規開拓が順調に進んだことから売上が拡大しました。特に人工関節置換手術や脊椎固定手術(変形した背骨を矯正し固定)が増加し、整形外科消耗品全体の売上高は前年同期比105.8%となりました。

循環器消耗品は、医師の異動に伴う一時的な症例の減少などの影響により、売上高が前年同期比99.0%となりました。しかしながら、循環器消耗品の新たな成長の軸となるカテーテルアブレーション(心臓の脈が速くなる頻脈の原因となる心筋組織を高周波で焼灼)関連製品の販売は、前年同期比127%と順調に拡大しています。

設備・備品は、手術室設備やモダリティ(CTやMRI、超音波検査装置等に代表される大型画像診断機器)の需要を確実に受注に結びつけたことから、売上高は前年同期比142.2%となりました。

また、医療器材事業全体として、仕入の改善や経費の削減を実施し、生産性を改善しました。

その結果、医療器材事業は、売上高475億48百万円(前年同期比 8.3%増)、営業利益5億93百万円(前年同期比 176.3%増)となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、今期から5施設で新たにSPDを開始しました。しかし前期に契約を終了した案件による利益の減少を補うには至りませんでした。

その結果、SPD事業は、売上高76億45百万円(前年同期比 4.1%増)、営業利益47百万円(前年同期比 6.7%減)となりました。

〈介護用品事業〉

介護用品事業は、既存のエリアもさることながら福島県や宮城県など新規参入エリアにおいても順調に拡大し、レンタルの売上高は前年同期比112.1%となりました。また介護用品の販売や介護用住宅リフォームの営業活動も強化し、順調に売上を拡大しています。

その結果、介護用品事業は、売上高9億1百万円(前年同期比 10.9%増)、営業利益41百万円(前年同期比 12.2%増)となりました。

〈輸入販売事業〉

輸入販売事業は、事業の立ち上げにともない先行費用が発生しています。

その結果、輸入販売事業は、営業損失9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は353億91百万円となり、前連結会計年度と比べ43億42百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が9億21百万円、受取手形及び売掛金が32億95百万円、商品が6億44百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が31百万円、無形固定資産が62百万円、投資その他の資産が1億22百万円それぞれ減少したことによるものです。

また、負債は304億23百万円となり、前連結会計年度と比べ、39億67百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が23億88百万円、電子記録債務が2億49百万円、短期借入金が16億19百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が36百万円、長期借入金が1億52百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は49億68百万円となり、前連結会計年度と比べ3億74百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により3億77百万円、非支配株主持分が1億40百万円それぞれ増加した一方で、配当金により1億68百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.2ポイント減少し、13.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ20億92百万円増加し、30億13百万円(前年同期は19億61百万円)となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、4億23百万円(前年同期は14億20百万円の減少)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益により6億4百万円、仕入債務の増加により26億38百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により32億95百万円、法人税等の支払額により2億56百万円それぞれ減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、39百万円(前年同期は66百万円の減少)となりました。

主な要因は、投資有価証券の売却により12百万円、保険積立金の解約による収入により20百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産の取得により49百万円、無形固定資産の取得により28百万円それぞれ減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、13億37百万円(前年同期は11億52百万円の増加)となりました。

主な要因は、短期借入金が17億円増加した一方で、長期借入金が2億32百万円、配当金の支払いにより1億68百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、平成28年8月9日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社エクソーラメディカルを新たに連結の範囲に含めています。

なお、株式会社エクソーラメディカルは当社の特定子会社に該当しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,142,565	3,063,837
受取手形及び売掛金	18,116,724	21,412,586
商品	4,147,346	4,792,343
その他	1,048,659	745,170
流動資産合計	25,455,296	30,013,937
固定資産		
有形固定資産	3,745,901	3,714,132
無形固定資産		
のれん	34,717	—
その他	211,900	184,603
無形固定資産合計	246,618	184,603
投資その他の資産	1,601,919	1,479,086
固定資産合計	5,594,439	5,377,821
資産合計	31,049,735	35,391,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,495,535	18,884,375
電子記録債務	4,493,950	4,743,398
短期借入金	1,794,860	3,414,842
未払法人税等	224,050	187,377
賞与引当金	27,831	29,683
その他	1,308,701	1,155,740
流動負債合計	24,344,930	28,415,418
固定負債		
長期借入金	881,636	729,134
役員退職慰労引当金	622,290	645,173
退職給付に係る負債	365,945	380,186
その他	241,072	253,587
固定負債合計	2,110,943	2,008,081
負債合計	26,455,874	30,423,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	346,954
利益剰余金	4,500,762	4,707,320
自己株式	△834,279	△834,279
株主資本合計	4,617,982	4,827,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,866	154,278
退職給付に係る調整累計額	△165,987	△154,686
その他の包括利益累計額合計	△24,121	△407
非支配株主持分	—	140,922
純資産合計	4,593,861	4,968,260
負債純資産合計	31,049,735	35,391,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	49,238,218	53,184,791
売上原価	44,222,009	47,727,816
売上総利益	5,016,208	5,456,974
販売費及び一般管理費	4,821,444	4,885,728
営業利益	194,764	571,245
営業外収益		
受取利息	565	340
受取配当金	1,855	1,820
受取保険金	1,404	411
保険解約返戻金	—	20,037
受取手数料	3,594	4,103
売電収入	5,011	5,102
その他	10,948	7,947
営業外収益合計	23,381	39,762
営業外費用		
支払利息	16,339	11,992
売電費用	5,463	4,833
その他	2,834	3,614
営業外費用合計	24,637	20,440
経常利益	193,507	590,568
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,638
有形固定資産売却益	1,479	734
受取補償金	13,975	6,681
特別利益合計	15,455	15,054
特別損失		
有形固定資産除却損	254	737
無形固定資産除却損	213	—
特別損失合計	468	737
税金等調整前四半期純利益	208,494	604,885
法人税、住民税及び事業税	38,890	177,500
法人税等調整額	78,159	53,925
法人税等合計	117,049	231,426
四半期純利益	91,445	373,459
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,445	377,551

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	91,445	373,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,522	12,412
退職給付に係る調整額	△2,522	11,300
その他の包括利益合計	14,999	23,713
四半期包括利益	106,445	397,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,445	401,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,092

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	208,494	604,885
減価償却費	140,100	137,305
のれん償却額	51,639	34,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△106	61
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△22,705	△14,865
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,742	14,240
受取利息及び受取配当金	△2,421	△2,160
受取補償金	△13,975	△6,681
支払利息	16,339	11,992
保険解約返戻金	—	△20,037
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,638
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,479	△734
有形固定資産除却損	254	737
無形固定資産除却損	213	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,284,931	△3,295,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	△791,657	△644,996
仕入債務の増減額(△は減少)	1,742,881	2,638,288
その他	△336,912	338,826
小計	△1,279,523	△211,921
利息及び配当金の受取額	2,416	2,155
利息の支払額	△16,502	△11,778
補償金の受取額	13,975	6,681
法人税等の支払額	△226,401	△256,241
法人税等の還付額	85,085	47,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,420,949	△423,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,090	—
保険積立金の解約による収入	—	20,866
有形固定資産の取得による支出	△61,495	△49,276
有形固定資産の売却による収入	2,147	4,009
無形固定資産の取得による支出	△13,488	△28,306
投資有価証券の取得による支出	△636	△664
投資有価証券の売却による収入	—	12,826
その他	538	553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,844	△39,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△167,128	△232,520
配当金の支払額	△167,903	△168,176
非支配株主からの払込みによる収入	—	50,000
その他	△12,271	△12,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,152,696	1,337,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△335,097	873,953
現金及び現金同等物の期首残高	2,296,197	2,092,364
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,961,099	3,013,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	41,161,009	7,285,188	792,020	—	49,238,218	—	49,238,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,754,192	61,422	20,469	—	2,836,084	△2,836,084	—
計	43,915,202	7,346,610	812,489	—	52,074,302	△2,836,084	49,238,218
セグメント利益	214,855	50,743	36,856	—	302,456	△107,692	194,764

(注) 1 セグメント利益の調整額△107,692千円には、セグメント間取引消去△11,805千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△95,886千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,702,020	7,583,598	899,172	—	53,184,791	—	53,184,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,846,838	61,770	2,277	—	2,910,885	△2,910,885	—
計	47,548,858	7,645,368	901,449	—	56,095,677	△2,910,885	53,184,791
セグメント利益 又は損失(△)	593,670	47,349	41,370	△9,680	672,709	△101,463	571,245

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△101,463千円には、セグメント間取引消去7,569千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△109,032千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更について

前第2四半期連結会計期間において「ライフサイエンス事業」に属していた高塚ライフサイエンス株式会社は、平成29年1月に「医療器材事業」に属している株式会社カワニシを存続会社として合併しました。これに伴い、「ライフサイエンス事業」に含めていた高塚ライフサイエンス株式会社の事業を第1四半期連結会計期間より「医療器材事業」に含めて表示しています。

また、第1四半期連結会計期間より株式会社エクソーラメディカルを連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして「輸入販売事業」を追加しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。